

社会資本総合整備計画

道都札幌にふさわしい活気に満ちあふれた魅力ある都心の実現(第2期)

(第7回変更)

令和5年2月6日

北海道札幌市

社会資本総合整備計画（市街地整備）

令和5年2月6日

計画の名称	道都札幌にふさわしい活気に満ちあふれた魅力ある都心の実現（第2期）			重点配分対象の該当	無
計画の期間	平成28年度～令和5年度（8年間）	交付対象	北海道札幌市		
計画の目標					

大通駅周辺地区では、大通交流拠点整備事業や路面電車のループ化事業、駅前通の民間ビルの建て替えなどにより、これまで課題となっていた札幌駅周辺地区の一極集中も解消の方向に向かっており、地区の活気も徐々に取り戻しつつある。今後は、北3条広場に代表されるように、地下のみならず、地上部においてもにぎわい機能の充実と快適な歩行空間の確保が求められている。

平成24年1月に策定した総合交通計画では、「路面電車の既設線において、バリアフリー化の実施、道路の拡幅に合わせた景観性の向上など、まちづくりと一体となった取り組みを進める」こととしている。今後は、既設線の機能向上等により路面電車利用者の満足度を向上させることで、都心のにぎわい創出や路面電車の利用促進につなげたいと考えている。

また、「札幌市都市再開発方針」（H28.3策定）では、都心地区における目標として、「札幌駅前通、大通、創成川通、北3条通を軸とする豊かで快適な都心の創造に向け、多様で高次な都市機能が複合した市街地の形成を図る。」ことを目指している。

一方、当該地区は自転車等駐車場が不足していることから、歩道に放置自転車があふれており、歩行環境上も景観上も大きな問題となっている。

そこで、路上放置自転車の解消に向けた取り組みと併せて、それぞれの事業の相乗効果により、魅力的で快適な都心の実現を図る。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・周辺地区の路上放置自転車数2,621台を111台に減少
- ・計画区域内における自転車乗入に対する駐輪場整備率を13.5%から100%に増加
- ・路面電車利用者の満足度を45%から65%に増加
- ・市街地再開発エリアにおける人口を34人から1,600人に増加

定量的指標の定義及び算定式

	定量的指標の現況値及び目標値	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28)	中間目標値 (R2末)	最終目標値 (R5末)
周辺地区の路上放置自転車数を測定する。	【台】	2,621	2,109	111
計画区域内における自転車乗入に対する駐輪場整備率を測定する。	【%】	14	18	100
路面電車利用者の満足度についてアンケートを実施する。	【%】	45	-	65
市街地再開発エリアにおける人口を調査する。	【人】	34	-	1,600

備考

全体事業費	合計 (A + B + C)	22,255百万円	A	19,721百万円	B	0百万円	C	2,534百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	11.39%
-------	-------------------	-----------	---	-----------	---	------	---	----------	---	------	-----------------------------------	--------

交付対象事業

A 基幹事業													全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設設計 策定状況	備考				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）											
									H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5				
A10-001	都市再生	一般	札幌市	直接	札幌市	大通駅周辺地区都市再生整備計画事業	27.6ha	札幌市									250			
A13-002	交通	一般	札幌市	直接	札幌市	都市・地域交通戦略推進事業	軌道改良、停車場改良、電力設備、車両基地	札幌市									3,521			
A16-003	住宅	一般	札幌市	間接	組合	北8西1地区市街地再開発事業	住宅、商業等 2.1ha	札幌市									9,127			
A16-004	住宅	一般	札幌市	間接	組合	南2西3南西地区市街地再開発事業	住宅、商業等 0.6ha	札幌市									5,932			
A16-005	住宅	一般	札幌市	直接	札幌市	札幌駅交流拠点地区基本計画等作成等事業	52.6ha	札幌市									26			
A16-006	住宅	一般	札幌市	間接	民間	北3西3南地区優良建築物等整備事業	業務、商業等 0.4ha	札幌市									470	1.43		
A13-007	市街地	一般	札幌市	間接	組合	北4西3地区第一種市街地再開発事業	商業、業務等 1.7ha	札幌市									396	1.19		
合計																	19,721			

B 関連社会資本整備事業

B 関連社会資本整備事業													全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設設計 策定状況	備考				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）											
									H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5				
合計																	0			

C 効果促進事業														全体事業費 (百万円)	備考			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)									
									H28	H29	H30	H31	R2			R3	R4	R5
C13-001	車両購入	一般	札幌市	直接	札幌市	新型低床車両の導入	新型低床車両(10両)の購入	札幌市									2,534	
合計																2,534		
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考	
C13-001	A13-002とあわせてバリアフリー対応でデザイン性に優れた低床車両を導入することにより、都心の魅力を高めることができる。																	

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業														全体事業費 (百万円)	備考			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)									
									H28	H29	H30	H31	R2			R3	R4	R5
合計																0.0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考	

交付金の執行状況

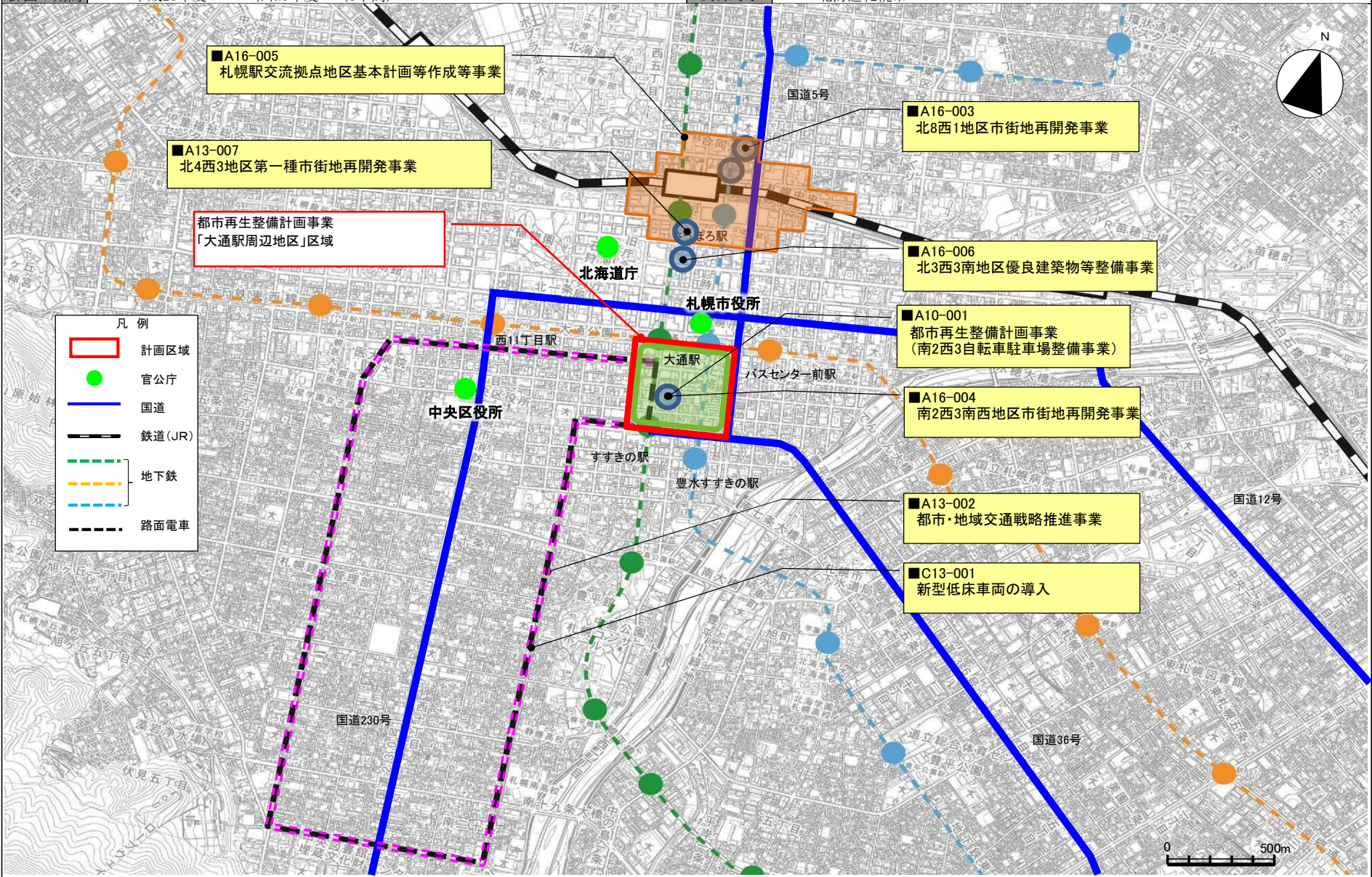
(単位:百万円)

	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
配分額 (a)	387	180	1,432	1,453	1,339	2,198		
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	387	180	1,432	1,453	1,339	2,198		
前年度からの繰越額 (d)	0	205	3	0	385	295		
支払済額 (e)	182	382	1,435	1,068	1,429	0		
翌年度繰越額 (f)	205	3	0	385	295	0		
うち未契約繰越額 (g)	168	0	0	0	20	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0	2,493		
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	43.4%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	100.0%		
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合その理由	再開発事業本体の遅れのため及び関係機関協議に伴う工程変更のため							

※ 平成28年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考図面)

計画の名称	道都札幌にふさわしい活気に満ちあふれた魅力ある都心の実現 (第2期)	交付対象	北海道札幌市
計画の期間	平成28年度 ~ 令和5年度 (8年間)		



事前評価チェックシート

計画の名称： 道都札幌にふさわしい活気に満ちあふれた魅力ある都心の実現（第2期）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 ①都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

